

## <浜松協働学舎>

社会福祉法人ひかりの園理事 高木誠一様が根洗寮やグループホームをご案内いただき説明をしてくださいました。ひときわ印象に残ったのは「できないのは本人の問題ではなく、環境の問題である。」というお言葉でした。例として、ある自閉症の方がなかなか落ち着かず問題行動も多かったのですが、周りのスタッフの方たちが1週間しゃべるのをやめたら、落ち着いて、問題行動もなくなったそうです。この方にとって、まわりの音がストレスになっていた様です。

浜松協働学舎には、「根洗寮」はじめ、グループホームが6つあります。その中のいくつかを見せていただき、それぞれの特長についてお話いただきました。大勢の仲間と過ごすのが好きな方、一人が好きな方、それぞれに合った環境のグループホームの作りになっており、配慮が行きとどいた環境に感動しました。支援者さんたちも明るく、親切な方たちばかりでした。

私たちが一番気になっていたのは※「サテライト住宅」でした。グループホームのすぐ隣のアパートに一人暮らしをしている障がい者の方がいらっしゃいました。グループホームで ある程度「一人暮らし」を想定した生活をした後、隣のアパートに入居したそうです。食事はグループホームに食べに来て、夜はアパートで寝る生活。一日1回、管理人さんが様子を見に来てくれるそうです。程良い距離で一人暮らしができる良いシステムだと思いました。



全員に個室



個室は個性さまざま



みんなで集まる食堂



寮には床屋さんが完備

### ※サテライト型住居

共同生活を営むというグループホームの趣旨を踏まえつつ、一人で暮らしたいというニーズにも応えたグループホームの新たな支援形態の一つ。本体住居との密接な連携が前提。本体住居との距離が概ね20分以内で移動可能である事。